

教員免許取得について

他、観測された失敗例

2012.5.13

~~2012.4.25~~

理学研究科~~M1~~^{M2} 小野寺光

講義者について

- 2008年入学
- 修士2年
- なんかTAとかしてる
- 高校の数学の免許を修得
- twitterアカウント：@kuttinpa（ほか12個）
- 例会時に誰かが講義を行う
- 講義をするのは基本的に1回生
- 講義プラス質問で30分くらい
- ふつうは黒板を使う

例会講義とは？

- 例会時に誰かが講義を行う
- 講義をするのは基本的に1回生
(最初はお手本も兼ねて上回生がやる)
- 講義プラス質問で30分くらい
- ふつうは黒板を使う

なぜ例会講義をするのか？

- 分野間の交流のため
(数学系でも、化学のことを知ることができる)
- 知識共有のため
(興味のある分野が生まれるかも)
- 発表の技術伝承のため
(セミナー発表の練習になる)

本日の流れ

- 1 自己紹介
- 2 例会講義について
- 3 教員免許取得について
 - 必要な単位
 - 教育実習
 - 取得の流れ
 - 取得のあと

本日の流れ

教員免許取得について

- 必要な単位
- 教育実習
- 取得の流れ
- 取得のあと

必要な単位

I	教科に関する科目	20	単位以上
II	教職に関する科目	33	単位以上
	合計	59	単位以上
III	その他の科目		

注意点 1

教科と教職の両方を十分量取得しても、
その合計が59を超えなければいけない

ぼくの失敗1

S2S例会講義 2012/05/13

数学の教免をとるつもりで単位を揃える



数学の単位ならたくさんあるし、
教職に関する科目は31単位でいいや



(4回生になるとき) やっぱ理科の教免もとるか



理科に関する科目は20単位必要なのか



教務「足りません」

教科に関する科目

数学なら

- 代数学、幾何学、解析学、「確率論・統計学」、コンピュータから最低1以上、合計20以上

理科なら

- 物理学、化学、生物学、地学から最低1以上
- 中学校なら物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験がすべて必修
- 高校なら実験はどれか1つでよい
- 以上の科目から合計20以上

注意点 2

高校の教員免許の取得は実験 1 科目でいいが、
実験をとった科目しか教えることができない

教職に関する科目

以下が必修

- 教職教育論
- 特別活動の理論と実践
- 生徒指導論
- 生徒指導の精神と具体的方策
- 教育相談
- 教科教育法 I ・ II （通年）
- 教職総合演習（3回以上）
- 教育実習（4回以上、通年）

教職に関する科目（2）

S2S例会講義 2012/05/13

以下から1つずつ選択必修

- 比較教育学or教育学概論 I or教育人間学概論 I
- 教育心理学 I or II or III
- 比較教育学概論or教育社会学概論 I or
教育行政学概論 I or II or教育学概論 II

注意点 3

- 2回生以上でないといこれらの科目を聴講できない
 - 1回生で行っても怒られる
- これらの科目は卒業要件に関係ない
 - 教育学部科目だから
- 今上げた単位をすべて取ることで、33単位に達することができる
 - 他にとったりする必要はない

注意点 4

- 教職総合演習について
 - 初回の授業に必ずでなくてはいけない
 - 出なかった場合、履修できない場合がある
- 介護実習について
 - 半年前に登録が必要
- 教育実習について
 - ありすぎて書けない

その他の科目

以下が必修、選択必修となる

- 日本国憲法
- 運動科学or体力医科学or健康科学or運動医科学
- スポーツ実習 I Aor I Bor II Aor II B
- 英語or独語or仏語or中国語or露語の I or II
- 「情報機器の操作」2単位以上

注意点 5

- 日本国憲法は抽選があるため、余裕を持って取得する必要がある

教育実習

- 最も面倒くさい
- 3回生のときに、以下のことをする必要がある
 - 事前講習に参加する（4月頃）
 - 一年後の実習のために
 - 教務に行って書類をもらう
 - 母校に連絡をとる（4月頃）
 - 内諾書を貰う
 - 書類を提出する（10月頃）
 - 内諾書などを提出

Tさんの失敗 1

教育実習は4回生からだと思っていたため、講習会や内諾などの情報を集めなかった



教育実習がM1に

教育実習（2）

- 4回生のときに、以下のことをする必要がある
 - 教育実習のチュートリアルに参加する（4月）
 - 教育実習の事前指導に参加する（4月）
 - 教科ごとにある
 - 教育実習の本番（4～10月）
 - 教育実習の事後指導に参加する（11月）
 - 教科ごとにある

ぼくの失敗 2

教育実習の本番が終わる



事後指導の存在を知らなかった



しかも数学の事後指導は、事前にレポートを提出
する必要があった



教務からメールが来る

取得の流れ

- 1 回生のとき
- 2 回生のとき
- 3 回生のとき
- 4 回生のとき

1 回生のとき

- 「その他の科目」を揃える
 - 日本国憲法、運動科学、スポ実、語学、情報など
 - 日本国憲法には抽選がある（2回目）

2 回生のとき

- 教職に関する科目を乱獲する
- ここでとらないといろいろな大変
 - 特筆事項はないが、教員免許取得で最も山場となる
- 履修登録が必要
 - 時期が通常の登録と異なる！
 - 場所は教育学部本館
 - 2重登録が（今のところはまだ）可能

3 回生のとき

- 教職に関する科目をこのへんでそろえる
- 教職総合演習を取る
 - チャンスは4度しかない
 - 教職に関する科目の中で第4位の面倒くささ
- 教育実習の準備

4 回生のとき

- 教育実習に参加する
- その他すべての単位を揃える
 - M1で揃えることも可能ではある
- 教員免許の一括申請に参加(10月)
 - 一次申請と二次申請がある
- 教員免許状は確実に受け取る(3月)
 - 卒業式でうけとれるらしい

Kさんの失敗

教員免許状一括申請の時期を知らなかった



自力で京都府に申請することに

取得のあと

- 教員採用試験を受けましょう
 - 免許を取っただけでは教壇に立てない
 - 自治体ごとに採用試験がある
 - ぶっちゃけコネ（最近はそうでもないらしい）
- 院にいくななら専修免許もとりましょう
 - ほとんど手続きだけでOK

俺達の戦いはこれからだ！

ありがとうございました